

平成24年行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	交通管制システム中央装置の整理統合に関する調査委託		担当部局	交通局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～平成25年度(予定)		担当課室	交通規制課		交通規制課長 和田 昭夫		
会計区分	一般会計		施策名	4 安全かつ快適な交通の確保				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	交通管制システムについて、現状の中央装置機器構成から、基本構成を見直し、新技術の導入、機能の統合分割、処理容量の拡大等の技術的検討を行うことにより、今後必要とされる「在るべき交通管制システム」となる高度化、効率化、低コスト化を目指す。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	現在の交通管制システムは、管制エリアの拡大とともに各都道府県警察が独自に機能の拡大を図ってきた結果、複雑なシステムとなり、機能の拡張・新技術の導入等が困難となっていた。これを解消するために、現在、平成25年度までを目標に、各道府県警察の交通管制システム「上位装置」の標準化を推進しており、順次更新がなされている。この「上位装置」の標準化更新の成功と最近のコンピュータの高性能化に伴い、それまで特定の「下位装置」で実現してきた高度な信号制御も「上位装置」で実現可能になり、機能の重複と交通管制システム全体が高コスト化、非効率化しつつある。これらの問題を解決するため、現行の交通管制システムが抱えている問題点及び各装置の役割分担を整理し、「上位装置」と「下位装置」の統合を視野に入れた整理統合について調査委託するものである。							
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他	
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	70	81	
		補正予算	-	-	-	0		
		繰越し等	-	-	-	0		
		計	-	-	-	70	81	
	執行額	-	-	-				
執行率(%)	-	-	-					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	(成果目標) 「上位装置」、「下位装置」の整理統合に関する報告書のとりまとめ (成果実績) 報告書数		成果実績	報告書数	-	-	-	1
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	「上位装置」と「下位装置」の統合を視野に入れた「新交通管制システム」の検討委員会の開催。 システム導入手引書の作成。		活動実績 (当初見込み)	回件	-	-	-	- (5回4件)
単位当たりコスト	-		算出根拠	-				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	人件費等	70	81	24年度に調査委託を行っており、25年度要求については、機器開発等を行うため増となったもの。				
	計	70	81					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	現行交通管制システムの「上位装置」と「下位装置」を整理統合し機器の集約及び効率化を図り、コストの削減を行なうことは、国として優先すべき事業である。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	標準化した上位装置では、信号制御、情報提供等各ブロックに機能を分散させ総合的に交通管制システムとして運用している。現在、下位装置で行っている機能を整理し、各ブロック又は新たに整備する下位ブロックで処理するかを明確に決定し、本格導入時の不具合発生リスクを最小限に抑えるため実機で検証の上、仕様を作成する調査委託は実効性の高いものである。
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 類似事業名とその所管部局・府省名	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本件については、未執行である。 事業の成果目標については、適切に設定されている。		
予算監視・効率化チームの所見			
		計画的かつ確実に事業を執行すること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		特になし	
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
		特になし	
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	新24-6

交通管制システム中央装置の整理統合

現 状

